第３期対策計画（令和３年度から５年度）の進め方（案）について

資料　１－１

１　第３期対策計画の進め方（案）について

　　令和３年度から５年度の第３期対策計画では、これまでの重点項目の設定に加え、防災本部が安全に係る企業活動の再点検やBCPの策定・見直しなどの事業所の自主的な防災・減災対策に関する取組みを事業所間で共有、活用を促す仕組みを整え、地区全体の防災・減災対策を促進する。

（１）

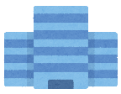
（２）

・

・

・

（３）



**①重点項目の進行管理**

**②事例の共有・活用**

共有・活用

**第３期対策計画期間の防災・減災対策の促進のイメージ**

２　第３期対策計画の重点項目の修正及び重点項目の代替措置について

　(1) 重点項目の修正について

　　　第６回検討部会（７月開催）において、重点項目として継続なしとした、

・建物・地震の津波対策

・安全に係る企業活動の再点検

・BCPの策定・見直し（防災関連項目）

は、特定事業者間での事例の共有・活用を求める項目として継続します。

　(2) 重点項目の代替措置について

①タンク配管への緊急遮断弁の設置（許可容量：500ｋL以上）（第２、３期）

　第２期対策計画の令和元年度の進捗状況において、代替措置を含め「未対策」とした事業所に対し、取組み状況をヒアリングした結果を反映

②小規模タンクの漂流対策（第３期）

　事業所アンケートにおいて、管理油高の下限値の見直し以外の対策として、回答があった事例について、代替措置として認めるか検討が必要